

## 快適性を追求した “宙に浮く”家

池田邸／大阪府堺市



完成予想図



エコウィル導入事例



1 2階の洋室にはロフトを計画。空間を広々と利用できる。  
(写真は施工イメージ)

2 LDが見通せるカウンターキッチン。ストックに便利な  
パントリーも提案している。(写真は施工イメージ)

### 地震を感知すると家が浮き上がる “エア断震システム”を採用

10月下旬、堺市北区にある分譲地の新築現場で、有限会社エイショウハウスの浅香氏ら関係者が見守る中、地震対策装置“エア断震システム”の初可動が行われた。そこで目にしたのは、家が宙に浮き上がる驚きの光景だ。

エイショウハウスは、「快適家(かいてきや)」をコンセプトに長期優良住宅づくりを行っている。「住む人、使う人にとって快適とは何かを一つひとつ分析し、追求しています」と社長の浅香氏。構造、設計、部材・設備機器の選択、プランの提案など、家づくりのすべての過程に「快適」という視点が生きている。

そんなエイショウハウスが新たに取り入れたのが、“エア断震システム”だ。南北を縦断するように走る上町断層や、生駒山地沿いに眠る生駒断層などを抱える大阪府では、今後大規模な地震が起こる可能性がある。“エア断震システム”は、地震を感知すると約80トンもの戸建住宅を空気力で約2.5センチ浮かせ、地面との接触面をなくすことで振動を断つ。ほとんど揺れが室内に伝わらないため、「大地震であっても、住宅の倒壊や損傷、そして家具の転倒もありません」。横揺れだけでなく、これまで対策が難しかった縦揺れにも対応する他、導入費用も従来の免震装置の約半額程度と、採用しやすいのも魅力である。



“エア断震システム”は、人工地盤の上に基礎を造る。地震センサーが揺れを感知すると、約0.5秒で地盤と基礎の間に空気が送り込まれて家が浮き上がり、揺れがおさまると建物は自動で正しい位置に戻る。

### 来客も家族も快適に過ごせるプラン ダブル発電で創エネ・省エネも

エイショウハウスで、“エア断震システム”第一号採用物件となるのが、現在建設中の池田邸である。設計にあたっては、共働きのご夫妻の要望に応えるとともに、「帰るのが楽しみになる住まいづくりを意識しました」と浅香氏。堺市議会議員を務めるご主人の仕事柄、来客が多いことから、1階は人が集いやすい空間に。玄関から直接出入りできる和室や、大人数にも対応できる広々とした約20畳のLDKを計画し、ご夫妻こだわりのワイドなカウンターキッチン、使い勝手のいいミセスコーナーも設けている。2階はプライベート空間とし、洗面室や浴室といった水まわりを配置。勾配天井で開放感いっぱいの寝室、可動間仕切りで2室にもなる9畳の洋室とロフトをプランニングした。機能性を考え、キッチンにはパントリー、洗面室にはリネン庫などの提案も盛り込んでいる。LDKにはガス温水床暖房「ヌック」、浴室にはミスト浴が楽しめる「ドライ&ミスト」を。片流れの屋根には太陽光発電を搭載し、ガス発電・給湯暖冷房システム「エコウィル」とのダブル発電で、地球の未来にも家計にもやさしい創エネ・省エネの暮らしを実現する。

“エア断震システム”を搭載した池田邸は、竣工後、数カ月間モデルハウスとして公開予定だ。快適性と近未来性を兼ね備えた“帰るのが楽しみな家”の完成が待ち遠しい。



優良な街づくり、家づくりのため、先陣を切って新システムを採用された池田さまご夫妻と浅香氏。

### MESSAGE



有限会社エイショウハウス

代表取締役

浅香 隆一さま(左)

株式会社若松興業

代表取締役

若松 秀司さま(右)

当社では、快適という視点から家づくりを行っています。今回の池田邸は木造2階建てで、当社初となる“エア断震システム”採用住宅です。施工には若松興業さんのご協力をいただきました。快適な住まいづくり提案のひとつとして、この近未来的なシステムを多くの方に知っていただきたいと思っています。また私達は、家だけではなく住む環境も快適にするため、地域の清掃活動も実施しています。これからも快適を追求した家づくりやさまざまなサービスを通して、お客さまの生涯に寄り添うライフパートナーでありたいと思っています。(浅香さま)

池田邸

設計／有限会社エイショウハウス  
施工／株式会社若松興業  
竣工／2011年1月予定

☎ 0120-29-5315  
<http://www.eishou-house.co.jp/>